

第 80 期 事業 報告 書

平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで

公益財団法人 東京海上各務記念財団

I. 事業 の 状 況

事業計画で掲げた 3 つの事業カテゴリ、公益事業 1 国内大学生に対する奨学金事業、公益事業 2 ASEAN 諸国からの大学院留学生に対する奨学金事業、及び公益事業 3 研究助成事業（若手研究者の学術の研究及び普及、並びに地震研究）に対する助成事業を行った。

この結果、第 80 期事業年度の奨学金、助成金の支出額は、合計 72,080,000 円、公益事業費合計は 93,511,693 円となった。

なお、事業費には公益法人の会計基準に則り、管理費の一部を加えている。

事業毎の実施状況は次のとおり。

公益事業 1 国内大学生に対する奨学金事業

(1) 事業内容

本事業は、昭和 14 年財団創設以来、当財団の事業の根幹をなすものである。本年度は 4 月に指定 15 大学より 33 名採用し、在籍者合計 84 名に対して奨学金月額 45,000 円を給与した。当期の奨学金は 44,820,000 円、事業費総額は 56,848,707 円であった。

奨学生の所属大学及び人数は、下記のとおりである。

東大 15 名、一橋大 9 名、東工大 6 名、筑波大 6 名、筑波技術大 6 名、東外大 3 名、 慶応大 9 名、早稲田大 9 名、中央大 3 名、上智大 3 名、京都大 6 名、東北大 4 名、 名古屋大 2 名、大阪大 2 名、高知大 1 名	計 84 名
---	--------

(2) 主要な事業活動

① 奨学生の選考及び奨学金授与式（平成 28 年 5 月）

候補者の面接及び選考委員会の審議を経て当期採用の奨学生を決定し、奨学金授与式にて財団理事より最初の奨学金を手渡した。

② 日本の文化にふれる会

歌舞伎鑑賞教室（平成 28 年 7 月 16 日 国立劇場）には、国内奨学生・ASEAN 奨学生あわせて 48 名が参加、大相撲観戦（平成 28 年 9 月 22 日両国国技館）には同じく 20 名が参加し、それぞれ終了後懇親会を開催した。

③ ASEANを知る会

ASEAN 奨学生を講師に、ASEAN 諸国についての理解と奨学生間の交流を深めることを狙いとして今年度は 2 回開催した。「ベトナムを知る会」（平成 28 年 4 月 15 日）には国内奨学生・ASEAN 奨学生あわせて 7 名が参加、「インドネシアを知る会」（平成 28 年 10 月 7 日）には同じく 10 名が参加した。

④ 奨学生向けセミナー（平成 28 年 9 月 16 日）

東京海上研究所から講師を招き、「首都直下地震、南海トラフ地震と富士山噴火」をテーマに開催した。国内奨学生・ASEAN 奨学生あわせて 13 名が参加した。

- ⑤ 「友情の絆」発行（平成28年10月）及びSNSの活用
奨学生の相互理解、情報交換を目的として、OB・OGを含むASEAN奨学生及び国内奨学生に投稿を募って毎年発行している。また、同様の目的によりタイムリーに情報共有・意見交換が可能なツールとして財団 facebook グループを活用した。
- ⑥ 国内奨学生・ASEAN奨学生交流の集い（平成28年11月11日）
例年どおりOB・OGを含む国内奨学生・ASEAN奨学生の年一度の交流会を開催した。参加者は総勢120名を超えた。
- ⑦ 次年度奨学生募集活動（平成28年10月～12月）
新たに北海道大、九州大を加えた指定17大学を往訪し、募集要項の説明を行った。

公益事業2 ASEAN諸国からの大学院留学生に対する奨学金事業

本事業は、東京海上火災保険株式会社（現東京海上日動火災保険株式会社）創立110周年記念事業の一環として平成2年から開始した事業であり、同社からの毎年の寄付金をもとに実施している。

(1) 事業内容

ASEAN諸国から当財団が指定するわが国の大学の大学院（修士・博士課程）へ私費留学している学生を対象に奨学金を給与するもので、本年度採用した4名を含む在籍者9名に対して奨学金月額180,000円を給与した。

その結果、当期の奨学金は19,440,000円、事業費総額は26,758,833円であった。

奨学生の所属大学、人数及び国籍は下記のとおりである。

東大2名（ベトナム、タイ）、一橋大2名（ベトナム）、
東工大2名（シンガポール、インドネシア）、
筑波大2名（インドネシア）、上智大1名（ベトナム） 計9名

(2) 主要な事業活動

- ① 奨学生の選考及び奨学金授与式（平成28年5月）
候補者の面接及び選考委員会の審議を経て当期採用の奨学生を決定し、奨学金授与式にて財団理事より最初の奨学金を手渡した。
- ② 日本の文化にふれる会開催（平成28年7月16日、9月22日）
公益事業1 国内大学生に対する奨学金事業(2) 主要な事業活動②に記載
- ③ ASEAN日本在住奨学生同窓会
 - a. ベトナム奨学生第9回同窓会（平成28年6月26日）
OB6名と現役生1名とその家族が参加した。
 - b. インドネシア・シンガポール・マレーシア・タイ奨学生合同同窓会
（平成29年2月11日）OB1名と現役生6名とその家族が参加した。
- ④ 奨学生向けセミナーの開催（平成28年9月16日）
公益事業1 国内大学生に対する奨学金事業(2) 主要な事業活動④に記載
- ⑤ 「友情の絆」発行（平成28年10月）及びSNSの活用

公益事業1 国内大学生に対する奨学金事業(2) 主要な事業活動⑤に記載

⑥ 「国内奨学生・ASEAN奨学生交流の集い」(平成28年11月11日)

公益事業1 国内大学生に対する奨学金事業(2) 主要な事業活動⑥に記載

⑦ 次年度奨学生募集活動(平成28年8月~9月・12月)

指定8大学を往訪し、募集要項の説明を行った。

⑧ 修了式(平成29年3月23日)

当年度に大学院博士課程、修士課程を修了した3名(シンガポール1名、ベトナム2名)の修了式を行い、賞状を贈呈した。修了者は2名が日本で就職、1名は母国に帰国。

奨学生選考委員会の構成は次のとおり。

(平成29年3月31日現在)

役職	氏名	就任年月日	現職
選考委員	飯島茂	平成28年7月1日	東京工業大学名誉教授
同	杉山武彦	同	高速道路調査会理事長
同	野村晋作	同	元東京海上日動常務
同	磯貝隼人	同	元東京海上日動執行役員
同	長村政明	同	東京海上日動経営企画部部長 CSR室長
同	松井潤	同	東京海上日動企業営業開発部部長 グローバル室長
同	宇垣篤志	同	当財団常務理事

公益事業3 研究助成事業

今期の研究助成金は下記(1)(2)を合わせて7,820,000円、事業費総額は9,904,153円となった。それぞれの助成内容は、下記のとおり。

(1) 学術の研究及び普及に対する助成事業

本事業は、国内の若手研究者が、国内、国外を問わず行う社会科学系の研究に対する助成であり、平成28年10月24日に審査委員会を開催し、下記3件の助成を採択した。

助成先	目的事項	助成金額
東京大学大学院法学政治学研究科 准教授 米村滋人	個人情報の私法的法律関係に関する研究	800,000円
東京大学大学院経済学研究科 講師 小島庸平	長野県東御市和地区深井淑家文書の整理・研究 -戦前日本における協同組合とインフォーマル金融-	800,000円
一橋大学大学院商学研究科 准教授 齊木吉隆	多地域景気循環モデルの研究	800,000円
合計		2,400,000円

学術研究助成審査委員会の構成は下記のとおり。

(平成29年3月31日現在)

役職	氏名	就任年月日	現職
審査委員	飯島 茂	平成28年7月1日	東京工業大学名誉教授
同	野村 晋作	同	元東京海上日動常務
同	宇垣 篤志	同	当財団常務理事

(2) 地震研究助成事業

本事業については、地震研究助成要綱に基づき審査委員会を開催している。当期においては、平成28年8月1日、平成28年12月15日、平成29年3月14日に審査委員会を開催し、下記3件の助成を採択した。

助成先	目的事項	助成金額
東京大学地震研究所 教授 平田 直	稠密地震観測による熊本地震震源域の地殻構造	3,000,000円
国立研究開発法人 防災科学技術研究所 地震津波防災研究部門 特別研究員 武村 俊介	南海トラフで発生する大地震の地震波・津波伝播特性	1,220,000円
東北大学大学院理学研究科 助教 高木 涼太	日本列島で観測される脈動の励起源の解明	1,200,000円
合計		5,420,000円

地震研究助成審査委員会の構成は下記のとおり。

(平成29年3月31日現在)

役職	氏名	就任年月日	現職
審査委員	高木 章雄	平成28年7月1日	地震予知総合研究振興会顧問
同	大竹 政和	同	東北大学名誉教授
同	丸山 修一	同	文部科学省研究振興局学術調査官
同	宇垣 篤志	同	当財団常務理事